下野市立石橋小学校　通級指導教室

たんぽぽ教室だより

令和3年12月号

もうすぐ楽しい冬休み！

校庭の木々も葉を落とし、朝夕の寒さが身にしみるようになりました。

石橋小では校外学習等も終わり、子供たちは、元気よく外遊びに励んでいます。

１２月は、冬休みやクリスマス、そしてお正月と楽しみな行事が続く時期ですね。コロナ禍ではありますが、対策をとりながら、ご家族そろって楽しい新年をお迎えください。１月には冬休みのお話を楽しみにしています。

１２月の行事予定

１２月	１日（火）	持久走大会　教育相談（～１０日まで）
	６日（月）	人権週間　（～１０日まで）
	７日（火）	人権集会
	１４日（火）	ＳＣ来校
	１５日（水）	授業研究会
	２４日（金）	後期前半終了
～ 1月	７日（金）	冬休み

※後期から通級を始めたお子さんの授業参観を行いたいと思います。
連絡ノートでご都合を伺いますので、よろしくお願いします。

たんぽぽの子どもたち

Ｄくんはかっとなりやすく、自分の気持ちをコントロールすることが苦手です。そこで、３人のグループで人との関わり方を学んでいます。

自分より下の学年の子とグループを組み、「先輩！よく面倒見てね」と声をかけると、「カードはここにあるよ」「ファイルはここに置くよ」と教えてくれます。また、エア・ホッケーのパドルの大きい方をさりげなく下級生に渡したりもできます。弟がいることもあり、年下の子に優しくすることができるのでしょう。

ある日、Ｄくんが宿題を忘れてしまって不機嫌な様子で教室に入ってきました。「今日のお楽しみは何する？」友達と言葉を交わすうちに、いつの間にか落ち着いています。授業の最後にお互いのよかったところを発表するのですが、「Ｄくんは、自分の考えをいっぱい書いてた」「ゲームで負けても怒らないで笑ってた」と言ってもらい、照れくさそうです。

教師と１対１の授業では、いらいらを引きずってしまうこともありますが、友達がいることで気分を変えたり、よい自分を意識して行動したりできるのだなと、改めてグループ指導のよさを感じました。

★見て学ぶ授業★

学年が上がるにつれて、授業では「話しことば」中心の授業が進められるようになります。先生が話す時間が圧倒的に長く、子どものことばを聞くことができる場面が少なくなっていきます。（中略）

話を聞き取る力が弱い子どもは、話が少しでも長くなったり、聞き逃しがあったりすると、すぐに姿勢が崩れます。（中略）残念ながら、彼らには先生の話すことばのほとんどが届いていないこともあります。「この子は集中力がない」と嘆くよりも、まず指導者が、子どもの集中時間を超過して話し込んでいないかを見直すことから始めるとよいかもしれません。

テレビはどうでしょうか。映像・音声に加えてテロップが頻繁に画面上に出てきます。聴覚障害者にとっては、情報収集を可能にする支援方法の一つなのですが、「情報が消えずに残る」環境がごくごく身近にある現代の子どもたちの「見て学ぶ」傾向はより一層強くなります。最近の子どもたちが「言い聞かせただけでは、入らない」のは、そのためかもしれません。

子どもたちの「聞き取りの力」の未発達さを踏まえれば、当然のことながら「見せる工夫」をふんだんに取り入れた授業スタイルに向かうのではないかと思います。

学苑社「発達のつまずきから読み解く支援アプローチ」より